



YMIWORLD

強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う

ワイズメンズクラブ国際協会

2026年10月



目次

	ページ
国際会長メッセージ ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク 国際会長	3
国際本部ニュース ジョース・ヴァルギース 国際書記長	4
ブルーミュージック：ビジョンから行動へ ジョース・ヴァルギース 国際書記長	5
IC 2026のハイライトとフォトギャラリー ワイズメンズクラブ国際協会	6
IYC 2026のハイライト ワイズメンズクラブ国際協会	8
アレキサンダーサポート基金を通じた国際連帯の構築 ロリ・スワン ASF国際事業主任	9
YMIリソースのお知らせ：アレキサンダーサポート基金 マニュアル改訂委員会	10
YMIにおける会員維持 ギル・ボブン MC国際事業主任	11
アフリカ地域ニュース ジョウン・マティ アフリカ地域ニュース編集者	12
アジア太平洋地域ニュース 利根川恵子 アジア太平洋地域ニュース編集者	13
ヨーロッパ地域ニュース ビルジット・ジェイコブセン ヨーロッパ地域ニュース編集者	15
インド地域ニュース ジョセフ・ヴァルギース インド地域ニュース編集者	16
韓国地域ニュース キム・ジンク 韓国地域ニュース編集者	19
米国地域ニュース メラニー・カイクエ・ヨシダ 米国地域ニュース編集者	22
国連デー 2026年10月	23
最も偉大なものは愛だ！ ヴィリー・モルゴー キリスト教強調国際事業主任	24

編集長から

YMI Worldに関するご意見やアイデアを共有するには、編集長までご連絡ください。

11月は

BFとiGoの強調月間です。

インパクトのあるストーリーを送信するには、以下をクリックしてください。
締め切り：2026年10月15日

[編集長へ](#)



国際会長メッセージ

国際会長 ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク



ペナンで開催された国際大会は無事終了し、皆、素晴らしい思い出を胸に帰路につきました！会場に出会った誰もが、今回の大会が史上最高だったと熱く語ってくれました！

開催直前に、イベント全体をドバイからペナンに移さなければならなかった状況を想像してみてください。そのような途方もない困難にもかかわらず、私たちは550人もの人々をペナンに集めることができました。これは、ドバイで予定していた人数を上回るものでした。

ジョース国際書記長とそのチームが、ドバイの会場との交渉を非常にうまくまとめてくれたおかげで、全額返金を受けることができました。また、新たなイベントの企画・開催にも尽力いただき、本当に感謝しています。ホテルは快適で、サービスも良く、スタッフの方々も親切でした。

ペナンYMCAは、私たちにとってかけがえのない存在で、そのスタッフやボランティアの方々には大変お世話になりました。特に私にとっては、2011年に訪れたことがあったので、とても興味深い経験でした。当時、私たちは海岸にマングローブを植えようと試みたのですが、泥の中に沈み込み、周りの人たちは私たちの苦闘ぶりを面白がって写真に収めていました。今回、ペナンYMCAを訪れた際、その時の写真がいくつか上映され、私たちは、また一緒に大笑いしました。

「ブルーミュージックイヤー」が始まって3ヶ月が経ちましたが、チェンマイをはじめとするワイズメンズクラブ国際協会のアジア太平洋地域全体で、ブルーミュージックのビジョンを実践し、「眠れる巨人」を目覚めさせる素晴らしい事例がすでに数多く見られます。

ペナンでは、310名のブルーミュージック・アンバサダーの多くが参加し、素晴らしい研修会を開催しました。11月にはチェンマイで引き続き研修を行う予定です。

こうした状況は、私を非常に楽観的で幸せな気持ちにさせてくれます。なぜなら、ブルーミュージックのビジョンに対する反響は、実に圧倒的なものだったからです。そして何よりも、310人ものブルーミュージック・アンバサダーの存在は、私に未来への大きな希望を与えてくれます。

今こそ、このビジョンを各地のクラブに持ち帰らなければなりません。焚き火を囲んで（あるいは焚き火のようなものを囲んで）、有意義な会話を交わし、物語を語り合いましょう。何を変え、何を刷新し、何を改善できるのかについて、互いに話し合ってみませんか。

このプロセスがうまくいくよう心から願っています。また、皆さんからの報告や写真を心待ちにしています。それらを私に送っていただき、YMI運動の皆さんと共有していただければ幸いです。

皆さん、幸運を祈ります。そして、神のご加護がありますように。



国際本部ニュース

国際書記長 ジョース・ヴァルギース

ペナンから世界へ

9月はワイズメンズクラブ国際協会（YMI）にとって思い出深い月となりました。世界中のメンバーがマレーシアのペナンに集まり、第75回国際大会、第20回国際ユースコンボケーション、RBMゴルフトーナメント、ブルーミュージック・リーダーシップフォーラム、その他の国際リーダーシップ会議が開催されました。

ペナンのセント・ジャイルズ・ウェンブリー・ホテルで開催された国際大会には、ユースや地元コミュニティのメンバーを含む550名以上が参加しました。この大会はまさに「夢の祭典」であり、親睦、学び、祝賀、文化体験、そして私たちの運動の未来についての対話の機会が一堂に会しました。

ペナン、ありがとう！

このような大規模な国際会議の成功は、多くの人々の尽力があってこそ実現しました。地元ホスト委員会として尽力していただいたペナンYMCA、シルバー・ステートYサービス・クラブ（南東アジア区）、そしてプログラム、ロジスティクス、登録、ホスピタリティ、マーシャルなど、多くの面で責任を担ってくださったすべてのリーダーとボランティアの方々に心から感謝申し上げます。多くの方々が舞台裏で静かに働き、期待をはるかに超える貢献をしてくださいました。

また、大会期間中、卓越した専門的なサポート、柔軟な対応、そして温かいもてなしを提供してくださったセント・ジャイルズ・ウェンブリー・ホテルの経営陣とスタッフの皆さまに、心から感謝申し上げます。

国際ユースコンボケーションには、様々な国から50名のユースが集まり、国際大会にも積極的に参加する機会を得ました。彼らの熱意は、若者がYMIをただ受け継ぐだけでなく、その未来を形作る機会を持つべきだということを改めて私たちに気づかせてくれました。

ペナン・ゴルフクラブで開催された「RBMゴルフトーナメント」は、親睦を深めるとともに、マラリアとの世界的な闘いに対するYMIの継続的な取り組みを支援することを目的としていました。





ペナンで開催されたブルーミュージック・リーダーシップフォーラムは、ヨハン国際会長の「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」というビジョンを、運動全体を通してどのように実践的な行動へと落とし込むことができるかを検討する機会となりました。

現在、世界中に310名のブルーミュージック・アンバサダーがいます。次の課題は、このネットワークを活性化し、クラブを強化し、新たなリーダーシップを育成し、若い世代を巻き込み、YMCAとのパートナーシップを強化し、戦略2032を実行に移すことです。

10月中、インド地域ではブルーミュージック・アンバサダー研修プログラムを実施し、アンバサダーがリーダーシップを発揮するための実践的な準備を行います。他の地域や区でも同様の取り組みが展開されることを期待しています。

代表者立法協議会（国際議会）もペナンで会合を開き、国際運動に影響を与える重要なガバナンスおよび政策について検討しました。これらの議論と決定は、YMIの将来に向けた統治体制の強化を継続していく上で重要です。



10月は、アレキサンダーサポート基金（ASF）の強調月間です。ASFは、YMIとYMCAの歴史的なパートナーシップを象徴する重要な基金であり、YMCAの発展、プログラム、そしてリーダーシップ育成を支援しています。10月中は、各クラブ、部、区、地域において、ASFの普及活動、会員へのその影響の共有、YMCAとの関係強化、そして寄付の促進にご協力をお願いいたします。力強いYMCAは、地域社会を変革する力を持っています。

ペナンで開催された国際大会は、私たちに新たな友情、アイデア、そして活力を与えてくれました。今こそ、その活力を地域社会に持ち帰らなければなりません。ブルーミュージック・アンバサダーの活動を活性化し、ASFを通じて未来のリーダー育成に投資し、YMCAとのパートナーシップを強化し、戦略2032を着実に実行に移していきましょう。

ペナンでの「夢の祭典」は幕を閉じましたが、YMIのクラブやメンバーが活動を続ける限り、夢は続いていきます。





IC 2026 ハイライト



クリックしてすべての写真
 と動画をご覧ください



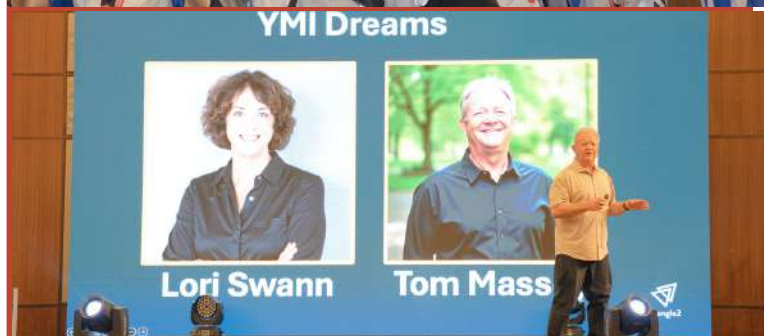
1日目：2026年9月10日
ハイライトビデオ



2日目：2026年9月11日
ハイライトビデオ



3日目：2026年9月12日
ハイライトビデオ



ysmen.org



[Facebook](#)



[YouTube](#)



[Instagram](#)



第20回国際ユースコンボケーション

2026 年 9 月 7 ~ 13 日 マレーシア、ペナン



ysmen.org



[Facebook](#)



[YouTube](#)



[インスタグラム](#)



国際的な連帯を築く アレキサンダーサポート基金

ASF 国際事業主任 ロリ・スワン

設立経緯

ワイズ運動の創始者であるポール・ウィリアム・アレキサンダー判事にちなんで名付けられました。1954年にミシガン州ランシングで開催された国際大会で、わずか900ドルでスタートしました。これは、アレキサンダーの肖像画（彼はこのアイデアをくだらないと考えていました）制作の費用と、代わりに彼がモデルを務めることに同意した写真の費用との差額です。

設立理由

YMCAとその使命を支援するため、区、地域、国際レベルで関連するプロジェクトや事業に資金を提供するとともに、YMCAとYMIとのパートナーシップを強化します。YMCAの主事たちに対する研修支援という当初の目的は、今日でも有効です。

国際支援の主な分野

- 集められた資金の30%は国際本部へ送金され、国際レベルでの配分に充てられます（残りの70%は地域レベルのプロジェクトを支援するために使われます）。



世界YMCA同盟および国内YMCA助成金

国際ASF基金は、ASFの目的に合致する国際的なプログラムや活動を行う世界YMCA同盟および各国のYMCAを支援します。

専門職員の研修支援

この基金の本来の目的は、YMCAの現職および将来の専門職員に対する研修支援です。

レビューとガバナンス

選考委員会（ASF国際事業主任+ASF地域事業主任、YMCAリエゾンを含む）が、提案内容、資金の妥当性、YMIの関与について審査します。

地域レベルでのASF

- 集められた資金の70%は地域内に留まり、地域または区が選定したプロジェクトを支援するために使われます。

誰が決定するのか

地域が単一の国で構成されている場合、その国が資金を配分します。地域が複数の国にまたがる場合、区がそれぞれの配分を受けます。

献金の方法

クラブ会員はそれぞれ、地元のYMCAと共同で募金活動を行い、年間最低5スイスフランを寄付することが推奨されています。

YMIリソースのお知らせ 毎月の最新情報 マニュアル改訂委員会

マニュアル改訂委員会（MRC）は、YMIのマニュアルとポリシーが常に最新かつ実用的で、運動のニーズに合致していることを保証します。過去1年間で、11の文書がレビューされました。この継続的な取り組みの一環として、またヨハン国際会長のブルーミュージックチャレンジを支援するため、YMIウェブサイトで公開されている最新の改訂内容の一部をご紹介しますことをMRCは嬉しく思います。

アレキサンダーサポート基金（ASF）

「ASFポリシー」は、YMCAへの支援基金を国際レベル、地域レベル、区レベルで効果的に管理・活用するための明確な枠組みとロードマップを提供するものです。

この基金は、YMIの創設者であるポール・ウィリアム・アレキサンダー判事の発案により、1954年に設立されました。彼は、自身を称える肖像画を依頼する代わりに、写真を使用し、節約できた資金をYMCAの研修に充てることを提案しました。その後、この基金は、彼の名にちなんで名付けられ、YMI運動におけるグローバルなエンパワーメントの礎となっています。基金は、YMCAの地域および国際的な発展を支援し、より大きな地域社会への影響力とより強力なグローバルリーダーシップを育てています。

世界中で集められた資金の30%は、YMCAの国際的な取り組みを支援するために使われます。残りの70%は、各地域、区がそれぞれのYMCAと協力して管理します。最近の方針変更により、ASFの配分は、スタッフの研修のみに使用されるのではなく、特定の地域、区により適した基準に重点を置くことができるようになりました。「ASFポリシー」は、地域、区がプロジェクトや支援要請を選定し、資金を申請し、報告要件を満たす方法を定めています。

ASFは、YMIとYMCAの強力なパートナーシップをさらに強化するものです。国際、地域、および区のすべてのリーダーは、この基金を効果的に活用することが推奨されます。

YMIのウェブサイトアクセスして、改訂されたASFプログラムと「ASFポリシー」の詳細をご覧ください。また、あなたのクラブがミッションパートナーとしてYMCAの活動をどのように支援できるかについてもご確認いただけます。

ぜひご一読ください。来月のお知らせもお楽しみに。

YMIダウンロードを詳しく見てみましょう

YMIのウェブサイトには、豊富なリソースが用意されています。上部のメニューバーにある「ダウンロード」をクリックするだけで、マニュアル、ポリシー、パンフレット、プロモーション資料、テンプレートなど、さまざまな資料にアクセスできます。すべて、カテゴリ別に整理されているので、必要なものをすばやく見つけることができます。

YMIにおける会員維持（MC）

所属する価値のある運動を築く

MC国際事業主任 ギル・ボブン



会員が活動を続ける理由は？

会員維持はしばしば数字で測られますが、すべての数字の背後には、かつて私たちの組織への参加を意識的に決断した人がいます。したがって、会員維持を考える際には、数字だけにとらわれず、人々が参加を決意し、活動続ける理由に焦点を当てるべきです。YMIにとって、最も重要な動機は奉仕です。会員は、変化を起こしたい、地域社会に貢献したい、他者に奉仕したいという思いから参加します。したがって、私たちの課題は、単に会員を維持することではなく、会員がYMIに入会した当初の目的と価値観を、彼らの体験を通して常に感じてもらえるようにすることです。

シャナヴァスカン元国際会長の「より良い世界のために、共に」から、エドワード直前国際会長の「共に、より強く」、そして今やヨハン国際会長の「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」というビジョンに至るまで、私たちのリーダーたちは、YMIの強みは共通の目的を持って人々が集まることにあることを私たちに思い出させてくれました。ブルーミュージック・アンバサダーのコンセプトは、これをさらに一歩進めたものです。すべてのメンバーが、YMIの精神をクラブの枠を超えて、より広いコミュニティへと広げていくことができるのです。

しかし、私たちの周りの世界は急速に変化しています。自然災害は、世界中のコミュニティにますます頻繁に、そして深刻に影響を与えています。最近のネパールの壊滅的な洪水は、私たちの国境をはるかに超えたコミュニティが緊急に支援を必要としていることを痛切に思い起こさせます。このような時こそ、「メンバーは何人いるのか？」だけでなく、「メンバーはどれだけ効果的に協力して活動できるのか？」と自問自答すべきです。最近、私は2026年8月20日から22日にかけて韓国巨済市トウンドンジョンでの緊急災害対応に参加し、奉仕の意味を身をもって体験しました。この活動を通して、危機の時における奉仕とは肩書きや境界ではなく、現場に身を置き、思いやりを持ち、行動することなのだ改めて感じました。しかし、私たちのビジョンはさらに広がる必要があります。

YMIが、特に自然災害に脆弱な国や地域において、地域、区、部間の組織的なネットワークを強化し続けることを願っています。災害が発生する前に、誰が対応できるのか、どのような資源が利用できるのか、そしてどのように互いに支援できるのかを把握することで、より強固な繋がりを築くことができれば、私たちの国際的な仲間意識を、国境を越えた真の奉仕ネットワークへと発展させることができますでしょう。

これは、会員維持の基盤でもあります。会員であることに意義があり、仲間との交流に目的があり、共に力を合わせれば地域社会だけでなく、支援が必要なあらゆる場所で変化を起こせると実感できる時、人々は組織に留まり続けるでしょう。結局のところ、一般の人々は、私たちの会員数統計を見るのではなく、私たちの活動そのものを見ています。ですから、私たちが最初に結びつけた精神、すなわち仲間意識、思いやり、そして奉仕の精神を強化することで、会員数を維持していきましょう。

人々が誇りを持って所属できる運動、そして世界中のコミュニティが頼りにする運動になりましょう。



共に力を合わせれば、もっと強くなれます。ブルーミュージックと共に、私たちの友情を行動へと、そして行動を希望へと変えていきましょう。

アフリカ地域ニュース

ジョウン・マティ アフリカ地域ニュース編集者



冒険、兄弟愛、そして友情： YMI国際大会の奇跡



IBC国際事業主任のジョアン・ウォンが、ペナンで開催されたIBCの夕食会で、アフリカからの参加者の一部と記念撮影



ペナンで開催された国際大会を楽しむアフリカからの参加者



ギデオン・ハリ牧師は、シンガポールで、訪問中のアフリカの国際大会参加者に向けて説教を行いました。



クアラルンプールのペルダナ植物園における、大会開催前の観光

先日ペナンで開催された国際大会を振り返り、ジャレッド・ムシマ地域会長は、その運営があまりにも素晴らしかったため、YMIの大会の中でも最高レベル、あるいは最高と言っても過言ではないほどだと述べました。2006年以来、すべての国際大会に出席してきたジャレッド・ムシマの言葉には、その重みがうかがえます。

ゲストとしてペナンで開催された国際大会に出席したジョセフ・マイナ（彼にとって初めての本格的なYMIイベント参加です）は、大きな刺激を受けてケニアに帰国しました。その感動は計り知れず、彼はすぐにナイロビワイズメンズクラブに入会しました。ペナンでの経験は、友情、親睦、そして友愛の奇跡だったと彼は語りました。

主催チームが企画した魅力的なプログラムに加え、ペナンで開催された大会は、多くの参加者にとって長期の観光を楽しむ機会となりました。特に、ケニアとタンザニアからの参加者の一部は、大会前にクアラルンプールとシンガポールを訪れ、それぞれの場所でYMIの素晴らしいおもてなしを受けました。

国際大会開催中および開催前後に共有された美しい瞬間は、YMIの真髄を改めて示すものです。それは、所属クラブの地域的な境界を超越した兄弟愛なのです。

今年、アフリカ地域からの国際大会への参加者は、近年で最大規模となり、WhatsAppグループでは感動的な話が次々と共有されています。2028年にコーチで開催される国際大会に向けて、アフリカ地域は、ジャレッド・ムシマ地域会長とモリス・キムリ次期区理事のリーダーシップと動員力に深く感謝しています。

アジア太平洋地域ニュース

利根川恵子 アジア太平洋地域ニュース編集者

ペナンでの地域会長就任式



ラチャン地域会長は、就任式を司式してくれたヨハン国際会長に感謝の意を表しました。見守っているのは、次期地域会長フランク・ツァイ



ラチャン地域会長の受諾スピーチ

アジア太平洋地域（ASP）の地域ミーティングが9月11日にペナンで開催された第75回国際大会期間中に行われ、地域会長の就任式も執り行われました。

70名以上のASPクラブ会員が参加し、ヨハン国際会長が司式した2026/27年度地域会長ラチャン・マニーカーンの就任式を見守りました。



ASP地域の区理事、地域事業主任、委員会委員長が任命書を誇らしげに披露

ラチャン地域会長は、受諾スピーチの後、7名の区理事と各分野の地域事業主任を含む地域のリーダーを紹介しました。このめでたい式典は、全メンバーを結びつけ、皆、一体感、活力、そしてYMI運動への深い献身の念を抱きました。

式典後、第32回ASP地域大会の大会委員会委員長の大野元地域会長が聴衆に対し、来年の地域大会への参加を呼びかけました。



IC 2026のアジア太平洋地域からの参加者



ペナンで開催された国際大会において、アジア太平洋地域のクラブが関わる3つの新たなIBCパートナーシップ協定が締結されました。これらの新たなパートナーシップは、会員が経験を広げ、永続的な国際的な友情を築き、有意義な異文化交流プログラムやプロジェクトに参加する機会を提供するものです。



ロイコーワイズメンズクラブ（ミャンマー）とニューテリトリワイズメンズクラブ（香港）



チェンマイワイズメンズクラブ（タイ）とコタヤムウェスト・ワイズメンズクラブ（インド）



チェンマイワイズメンズクラブ（タイ）とビザグジャズインド・ワイズメンズクラブ（インド）

ようこそ、オーストラリア、キャンベラ・ネクストジェンYサービスクラブ



2026年9月20日、ラダクリシュナン次期国際会長が、ネクストジェンクラブ会員およびセバスチャン・マシュー理事の立ち会いのもと、新会長に就任したヨハン・ジェイコブにキャンベラ・ネクストジェンYサービス・クラブのチャーター状を伝達しました。

ヨーロッパにおけるYMCAとYMIの協力関係の強化

ヨーロッパYMCA同盟は、2026年5月14日から17日にかけてマルタのクワラで年次総会を開催し、ワイズメンズクラブ国際協会(YMI)ヨーロッパ地域の代表者も出席しました。

今回の総会における重要な出来事の一つは、ヨーロッパYMCA同盟とYMIヨーロッパ地域の間で協力協定が締結されたことです。この協定は、ヨーロッパ全土の各国および地方のYMCAとYMIクラブの強化に向けた取り組みを連携させ、協調的かつ戦略的で相互に強化し合う活動を確保することを目的としています。



国際兄弟クラブが集結



楽しい時間、会話、共有体験、笑い、そして新たな冒険！

先日、デンマークのビェリングブロ・ワイズメンズクラブは、パートナークラブであるヴェンデルボーネ・ワイズメンズクラブ（ヒョリング）を歓迎する機会に恵まれました。ヴェンデルボーネのクラブメンバーがビェリングブロを訪れるのは今回が初めてで、当日は様々な興味深い体験が盛り込まれていました。

プログラムには、グルンドフォス博物館と自然科学館への訪問が含まれていました。また、ビェリングブロ教会や、ワイズメンが運営を支援しているリユースセンターへの訪問もありました。リユースセンターでは毎年、売上から多額の余剰金生まれ、慈善事業に寄付されています。これは、コミュニティ精神とボランティア活動がいかに大きな変化をもたらせることができるかを示す素晴らしい例です。午前10時に始まり午後7時30分に終了したこの日は、楽しいひととき、有意義な会話、そして強いコミュニティ意識に満ち溢れていました。

IC 2026のヨーロッパ地域からの参加者



インド地域ニュース

ジョセフ・ヴァルギース インド地域ニュース編集者



国際大会への参加

マレーシアのペナンで開催された第75回国際大会において、インド地域のクラブ会員は活気に満ち溢れ、熱意にあふれた存在感を示しました。力強いインド代表団は、大会および様々な国際会議に積極的に参加し、インド地域の団結力、強さ、そして奉仕の精神を誇らしく示しました。

中央トラヴァンコール区

腎臓ケアサポート

エナスリバービュー・ワイズメンズクラブは、腎臓ケアプロジェクトの一環として、透析治療費の援助を行いました。第1部のジョビー・トーマス次期部長が、シャジュディンさんに小切手を手渡し、継続的な透析治療を支援しました。この取り組みは、地域社会への思いやりのある奉仕と、腎臓疾患を抱える人々への支援という、クラブの強い意志を示すものです。



ボディニラヤムYMCAにサポートを拡大

第5部のコッタヤムワイズメンズクラブのジョイ・イペとヴァルサ・イペは、障がいのある子どもたちのケアと育成を専門とするボディニラヤムYMCAに支援を申し出ました。YMCA会長のアブラハム・クリエンと主事のシジュ・E・ヴァルギースがジョイ・イペから小切手を受け取りました。この取り組みは、包括的なケアと地域社会の福祉を支援するというクラブの強い意志を示すものです。

中東区

「暑さを吹き飛ばせ」

2026年9月6日、アル・アインワイズメンズクラブは、フライブルク・コントラクティング社と共同で、建設中のプロジェクト現場で「暑さをしのぐ」人道支援キャンペーンを実施しました。クラブ会長のシント・サニーと会計のスジット・ラージがこの取り組みを統括しました。

SEHAの看護師と現場の技術者は、熱中症のリスク、水分補給、夏の注意事項に関する安全説明会を実施しました。作業員には食料品の詰め合わせと感謝のバッジが配布され、その後、彼らの献身と貢献を称える交流会が行われました。この取り組みは、参加した子供たちにも「社会への貢献」というメッセージを伝え、感銘を与えました。



インド中西部

Yのケア — 重要な節目

2026年6月18日、インド中西部の主要プロジェクト「Yのケア」の一環として、透析装置2台がルルド病院に寄贈されました。このプロジェクトは、腎不全患者への無料透析クーポン提供を支援するものです。貴重な貢献をいただいた第1ゾーンの副理事のサントシュ・カナダン、彼のチーム、そしてエルナクラムワイズメンズクラブに心から感謝申し上げます。



注目すべき人道支援プロジェクト

インド中西部第4ゾーンでは、対象となる人々に総額250万インドルピー以上の歯科医療を提供しました。この取り組みは、わずか24時間で141個の義歯を装着し、口腔機能だけでなく、自信、尊厳、そして数え切れないほどの笑顔を取り戻したことで、インド記録集に名を連ねました。



南中央インド区

従業員向け眼科検診研修キャンプ2026

ホスールワイズメンズクラブは、アイ・ファンデーションと協力し、クリスタル・エンジニアリング・システムズ社が主催する形で、2026年7月18日にクリスタル・エンジニアリング・システムズ第2工場にて無料眼科検診キャンプを実施しました。このキャンプは214名の従業員に恩恵をもたらし、目の健康と職場環境の改善に貢献しました。この取り組みは、人類への奉仕の精神を反映した、意義深い成功を収めました。



無料眼科キャンプ - ヴィルドゥナガル

ヴィルドゥナガルワイズメンズクラブは、2026年9月6日に無料眼科検診キャンプを実施し、包括的な眼科検査を通じて100名の方々に恩恵をもたらしました。43名が眼科手術の対象となり、29名が無料の眼鏡の提供を受けました。これは、クラブが誰もが利用できる眼科医療と地域社会への貢献に尽力していることを改めて示すものです。

南インド区

アンナ・セヴァイ・プロジェクト - マドゥライワイズメネットワーククラブ

2026年9月9日、マドゥライワイズメネットワーククラブは、ティルナガルのBharathy老人ホームでアンナ・セヴァイ（食事提供）を実施しました。クラブ会員は、高齢の方々に昼食を提供し、一緒に時間を過ごし、愛情、思いやり、そして親睦を深めました。



マドラス部 - オナム祭

マドラス部では、2026年9月6日に、活気あふれる文化プログラム、伝統的なプーカラム（花の模様）、オナサディヤ（オナムの祝宴）でオナムの精神を祝いました。会員とその家族は、祝祭の衣装を身にまとい、団結と喜びの収穫祭を祝いました。

コインバトルワイズメンズクラブ – 洪水救援支援

コインバトルワイズメンズクラブは、ネパールの洪水被災者に対し、ポカラワイズメンズクラブへの資金援助を通じて支援の手を差し伸べました。この支援は、真の国際的な友愛と奉仕の精神を体現するものです。



西インド区



交通安全啓発キャンペーン – 「レットヒムゴー」

この取り組みの一環として、第3部部長のジョヤチャン・ヴァーギーズ、ウシャ・ヴィジャヤンに「レットヒムゴー」プロジェクトのポスターとピンバッジを贈呈しました。この交通安全啓発プログラムは、忍耐、道路利用者としての責任ある行動、他者への敬意を促進するもので、ワヤナードの社会・文化コミュニティから強い支持と協力を得ています。



大規模清掃活動

第6部チェルプザ・タウンワイズメンズクラブの主導のもと、最近の豪雨で被害を受けたカンヌール県チェルプザ・タウンの地域を復旧するための大規模な清掃活動が進行中です。

IC 2026のインド地域からの参加者



韓国地域ニュース

キム・ジンク 韓国地域ニュース編集者

韓国地域、巨済市での洪水緊急救援活動を完了



8月20日から22日にかけて、大雨による深刻な洪水被害を受けた巨済市トゥンドンミョンで、韓国地域から200名以上のYMIクラブ会員が3日間の緊急救援活動に動員されました。韓国地域緊急救援本部と地元当局の調整のもと、韓国全北道から100名、韓国富蔚慶道から80名を含む11地域からのボランティアが交代制で活動しました。気温が33℃を超える猛暑の中、会員たちは住宅、農場、温室など20か所の被災地を復旧させました。また、地元のクラブは活動期間中、住民やボランティアのために移動式の食事提供サービスも行いました。

韓国地域は、物的復旧作業に加え、総額約5,000万ウォン相当の包括的な支援パッケージを提供しました。これには、救援資金500万ウォン、飲料水1万本、トイレットペーパー500カートン、毛布300枚、調理器具などが含まれます。地域会長トロイカ3名が被災地を視察し、地方自治体や地域リーダーに寄付品を手渡しました。閉会式では、本部が、困難な状況下での迅速な対応に対し、全メンバーに深い感謝の意を表しました。参加者からは、今回の経験を通して奉仕への決意が強まり、より良い世界のために働くワイズの男女としての誇りが改めて感じられたとの声が上がりました。

韓国全北区

第44回新会員およびリーダーシップ研修セミナー

韓国全北区は、9月5日、全州ポールセンターで第44回新会員・リーダー研修セミナーを開催し、2026/27年度のYMIの新会員およびリーダー約100名が参加しました。全5部構成の包括的なプログラムでは、ロバート議事法、ワイズメンヘルパーズの緊急救援活動、ワイズの核となるアイデンティティ、親睦とコミュニケーション、韓国のABR（Awake & Build Up Right：目覚め、正しく築く）政策に関する説明など、重要なトピックが網羅されました。

このセミナーは、新会員のワイズの価値観への理解を深めるとともに、現会員のリーダーシップスキルを強化することを目的としていました。イベントの最後には、参加したすべての新会員に修了証が授与されました。





「新しい住宅運動」

韓国済州区の済州ドンヘンワイズメンズクラブは、9月5日、済州市一島2洞で、同クラブ独自の「新しい住宅運動」を実施し、障がいを持つ高齢住民のために重要な住宅改修を行いました。

クラブ会員、その家族、そしてユースメンバー約20名がボランティアとして、床材、壁紙、台所用品の交換、網戸の修理、そして建物の徹底的な清掃を行いました。住宅の修繕に加え、クラブは、支援活動を拡大し、一人暮らしの高齢者約30世帯を訪問し、米やボトル入り飲料水などの生活必需品を届けました。

同クラブは、地域の福祉施設との継続的な協力を通じて、地域社会に貢献する活動に尽力し続けています。コ・チャンボン会長は、これらの活動をクラブの日常的な活動に組み込むことで会員間の絆が深まったと述べ、今後、近隣のクラブとの連携を拡大し、より多様な地域奉仕活動を展開していく計画だと付け加えました。

韓国ソウル区

ペナンのIC 26で開催された世界平和コンサート

戦略2032平和プロジェクトの一環として、韓国ソウル区（戦略2032平和プロジェクト ソウル区リーダー、チュン・キョンジュ）は、マレーシアのペナンで開催されたIC 26期間中に世界平和コンサートを開催しました。2024年にチェンマイで開催された初回イベントの成功を踏まえ、「歌、踊り、詩は文明間の障壁を打ち破る」というテーマを中心に据え、パフォーマンスチームにはソウルハンヤンワイズメンズクラブとソウルダリゴルワイズメンズ&ウィメンズクラブの家族やユースが参加しました。両クラブは、YMIの中核となる精神と哲学を反映させるため、1年間かけてプログラムを開発しました。

多彩な演目が披露されたこのイベントでは、トロンボーン演奏、韓国の伝統的な小太鼓舞、YMCAによる武道演武、そして日本のワイズメンによる平和の歌「長崎の鐘」の特別演奏が行われました。イベントの最後には、世界中から集まった参加者たちが手を取り合い、「ハンドインハンド」と「アリラン」を合唱し、力強い国際連帯の瞬間を迎えました。



高齢者向けトイレとシャワーの設置

韓国西区、新清陽ワイズメンズクラブの会員たちが、一人暮らしの高齢女性のために、意義深い住宅改修プロジェクトを完成させました。

8月28日から9月14日まで実施されたこのプロジェクトは、これまで屋内に衛生設備がなかった住宅を対象としていました。クラブ会員は時間、スキル、そして資金を惜しみなく提供し、最新式の水洗トイレと屋内シャワー設備を設置することで、住民の日常生活環境と生活の質を大幅に向上させました。

ジェオン区理事は、この取り組みを称賛し、このプロジェクトは地域社会の切実なニーズに直接応えることで、真のワイズ精神を示す感動的な事例となったと述べました。



IC 2026の韓国地域からの参加者



米国地域ニュース

メラニー・カیفエ・ヨシダ 米国地域ニュース編集者

ヘンリー・グライズが全米YMCAの殿堂入りを果たす

今年は米国におけるYMCA創立175周年、そしてYMI設立104周年にあたります。今年のYMCA総会では、YMI初の有給国際書記長であるヘンリー・グライズが、全米YMCA殿堂入りを果たしました。

1985年に設立された全米YMCA殿堂は、同年、最初の2名のメンバーを迎え入れました。ハーバート・ランズデル・ジュニアとポール・リンバートです。両名ともヘンリー・グライズとYMIに深い繋がりを持っていました。

今年の殿堂入り式典は、総会の開会式の一環として行われました。11名が殿堂入りを果たし、うち6名は存命、5名は故人です。彼らの経歴と写真が総会で紹介された後、翌晩に正式な殿堂入り式典とレセプションが開催されました。2023年に殿堂入りを果たした米国YMCA同盟の元CEO、デブ・マーサーは、カリフォルニア州のウェストバレーワイズメンズクラブとのつながりを含め、YMIでの経験についていくつかのエピソードを語りました。

式典では、以下の略歴が紹介されました。

ヘンリー・グライズは、ボランティア精神に溢れた人物でした。繊維会社の化学者としてキャリアをスタートさせたグライズは、若い頃にマサチューセッツ州ローレンスのYMCAに入会しました。彼は、すぐに活動に積極的に参加し、最終的には理事、理事長、そして評議員を務めました。評議員は40年近くに亘って務めました。その間、グライズは、ワイズメンズクラブの設立に尽力し、ワイズメンズクラブ国際協会の書記長に選出されました。彼は30年間、毎年その職に選出されました。その後、グライズは、初の常勤職員となりました。

グライズは、1925年にマサチューセッツ州およびロードアイランド州のYMCA州委員会の会長に就任し、1928年には全米YMCA同盟の評議員、1936年には世界YMCA同盟の評議員となりました。彼が卓越した信徒指導者賞を授与されたのは、この全米YMCA同盟からでした。



「すべての人々のために」がYMCAの指導理念となるずっと前から、グライズはYMCAを「すべての人々のための場所」にするために尽力してきました。彼は、ワイズメンズクラブ国際協会の入会申込書を書き換え、人種や宗教に関する項目を削除しました。グライズ夫妻は「ワールド・フェロウシップ」の一環として60カ国以上を旅し、また、世界中から同僚や友人を自宅に招きました。



国連デー 10月

10月1日

国際高齢者の日

10月1日は、国連総会が制定した「国際高齢者の日」です。この日は、人口高齢化に伴う機会と課題への意識を高め、高齢者の権利、尊厳、福祉を促進することを目的としています。ヨハン・エルトヴィク国際会長の「ブルーミュージックビジョン」は、高齢化を強みと捉え、高齢者がクラブや地域社会に貢献できる貴重な役割を認識するよう促しています。そして、クラブに対し以下のことを呼びかけています。

- 高齢者をクラブの活動的なメンバーとして歓迎し、彼らの経験、知識、スキルを高く評価しましょう。
- 高齢者が積極的に社会に関わり、地域社会に貢献できるよう、親睦を深める機会、リーダーシップを発揮できる機会、そして意義のある奉仕活動を促進しましょう。
- 加齢を、強さ、知恵、経験の源として捉え直し、祝福しましょう。

この日を記念するにあたり、高齢者が過去の貢献だけでなく、リーダーシップ、仲間意識、そして奉仕の精神においても高く評価されるような、世代を超えたクラブやコミュニティを築き上げていきましょう。

10月10日

世界メンタルヘルスデー

10月10日は、世界メンタルヘルスデーです。この日は、メンタルヘルスへの意識を高め、理解を促進し、偏見を減らすとともに、地域社会が心の健康と適切なケアへのアクセスを支援するよう促す機会となります。メンタルヘルスは、YMIが掲げる親睦、奉仕、そしてより強いコミュニティへの取り組みと密接に関係しており、戦略2032の柱の一つです。

先日ペナンで開催された国際議会において、ジュネーブYサービスクラブが申請したTOFプロジェクトが承認され、10モジュールからなるメンタルヘルスプログラムの開発を支援することになりました。このプログラムは、自分のペースで進める学習とコミュニティグループでのディスカッションを組み合わせ、世界各地の最大30の地域グループを通じて、地域社会や青少年のリーダーを巻き込むことを目的としています。参加者は、メンタルヘルスの課題を認識し、それに対応する方法、支援的で包容的なコミュニティを育てる方法、そして信仰共同体、医療サービス、メンタルヘルス専門家間の連携を強化する方法を学びます。

世界メンタルヘルスデーを迎えるにあたり、友情、連帯、そして強いコミュニティ意識が、人々が繋がりを保ち、困難に立ち向かい、精神的に強くあり続けるために役立つことを心に留めておきましょう。すべてのクラブが、人々が認められ、尊重され、支えられていると感じられる場所となるように。

このセクションでは、YMIの価値観と使命に最も明確に共鳴する、国連の主要な記念日をいくつか紹介します。国連記念日の全リストと詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

[国連公式カレンダー。](#)

最も偉大なものは愛だ！

ヴィリー・モルゴー キリスト教強調国際事業主任

私が少年だった頃、キリスト教について教えられました。特に教師や牧師からは、十戒について多くのことを学びました。当時、旧約聖書と新約聖書は、多くの点で神の言葉として同等に扱われていました。

しかし、少しずつ、私たちはイエスが旧約聖書に重要な修正を加えたことを理解するようになりました。

かつてイエスは、「律法の中で最も重要な戒めは何ですか？」と問われました。イエスは「あなたの神である主を愛しなさい…」と答え、さらに「しかし、これと同等の戒めがもう一つあります。それは、あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」と付け加えました。これは、すべての人にとって非常に大きな課題です。隣人を少しでも愛するためには、神の助けが必要です。このことを理解すれば、私たちの人生に神が必要であることも理解できるのです。

ヨハネによる福音書によれば、イエスは「あなたがたに命じるのは、互いに愛し合うことである」と言われました。実際、これは、イエスが直接語った唯一の戒めです。そして、この一つの戒めを守るならば、他のすべての戒めはほとんど不要になるというのは真実です。コリントの信徒への手紙の中で、私は、特に次の解釈が好きです。「他のすべてが消え去った後には、三つのものが残る。信仰、希望、そして愛である。しかし、最も偉大なものは愛である。」



「最も偉大なものは愛だ！」こそキリスト教において最も重要なメッセージだと私は信じています。だからこそ、イエスは、ご自身のしもべたちが愛の共同体となることを望んでおられると信じています。世界中のワイズの全員が愛の共同体となることを望んでおられるのです。そして、神は、聖霊を通して私たちの傍らに立ち、この偉大な目標の達成を助けてくださっていることを私は、知っています。

私たちだけでは成功はあり得ません。私たちだけでは隣人を愛することもできません。隣人やYMIの仲間たちを尊重することはできるかもしれませんが、神の助けがあれば、さらに前進できます。